

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2015年 第26週 （6月22日～6月28日）

## ★お知らせ

### ○手足口病に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第25週の1.57から第26週で2.43と増加しています。幡多以外で増加し、須崎、中央西では警報値を超え、安芸では注意報値を超え、高知県全域でも注意報値を超えました。

手足口病は合併症として、心筋症や髄膜炎を起こすことがあります。これから注意が必要な時期になりますので、食事前やトイレ後の手洗いなど、感染予防対策を心がけてください。

この病気は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患であり、2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。

学童以上の年齢層の大半はすでにこれらのウイルスの感染（不顕性感染も含む）を受けている場合が多いので、成人の発症はあまり見られません。

通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができ、時に肘、膝、臀部などにも出現します。

ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。

また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。

回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

### ○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第25週の2.43から第26週では2.57とほぼ横ばいですが、高知市、幡多、安芸、中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。過去5年間の同時期と比較してかなり高い値が続いており、引き続き注意が必要です。

通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多くなります。乳幼児では咽頭炎、年長児や成人特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第25週の4.80から第26週では4.47とほぼ横ばいですが、高知市、安芸、須崎で増加しています。今後も手洗いの徹底等の感染予防をしてください。

### ○夏型感染症（咽頭結膜熱・手足口病・ヘルパンギーナ）に注意しましょう！

これらの疾患は夏に流行する代表的な疾患で、患者の咳や水疱内容物、便などに含まれるウイルスを介して感染します。口の中の発疹やのどの痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。回復後にも約2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあります。幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。

### ○インフルエンザに気を付けて！

幡多から迅速検査では、インフルエンザB型の検出が報告されています。また、学級閉鎖の報告もあります。

感染症予防の基本は、

★☆☆手洗いから★☆☆

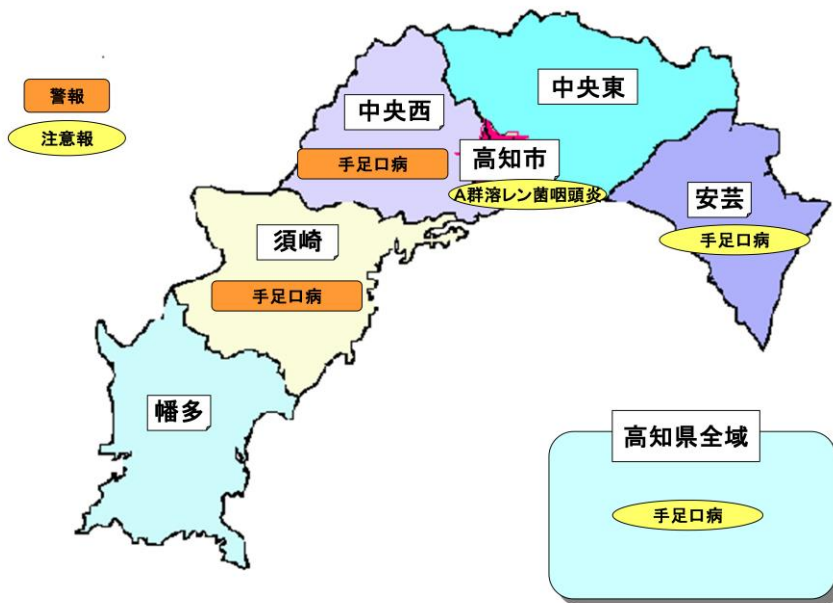
調理時や食事前、トイレの後は石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減  
 26週（6月22日～6月28日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	4.47	高知市、安芸、須崎で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	2.57	高知市、幡多、安芸、中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。
手足口病	↗	2.43	幡多以外で増加し、須崎、中央西では警報値を超え、安芸では注意報値を超えています。
突発性発疹	→	0.53	中央西、中央東で増加しています。
インフルエンザ	↗	0.42	幡多で増加しています。

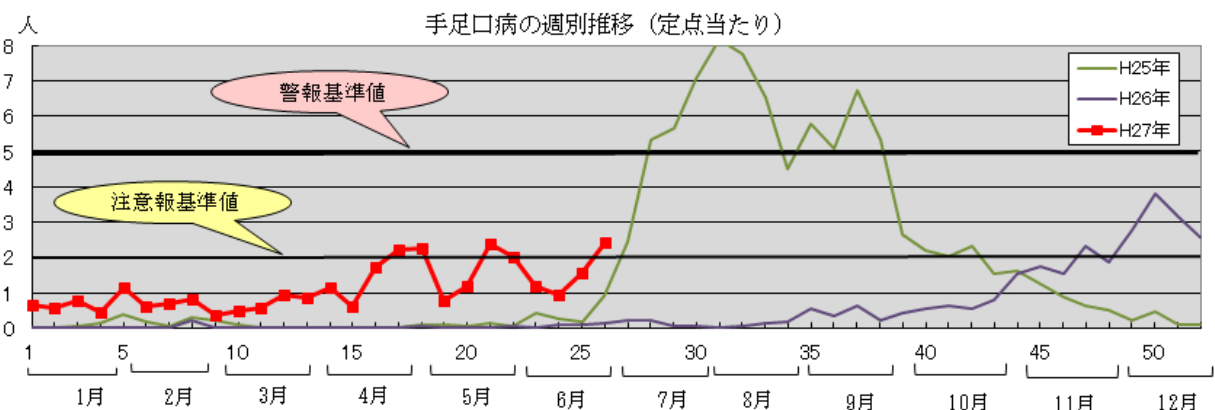
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

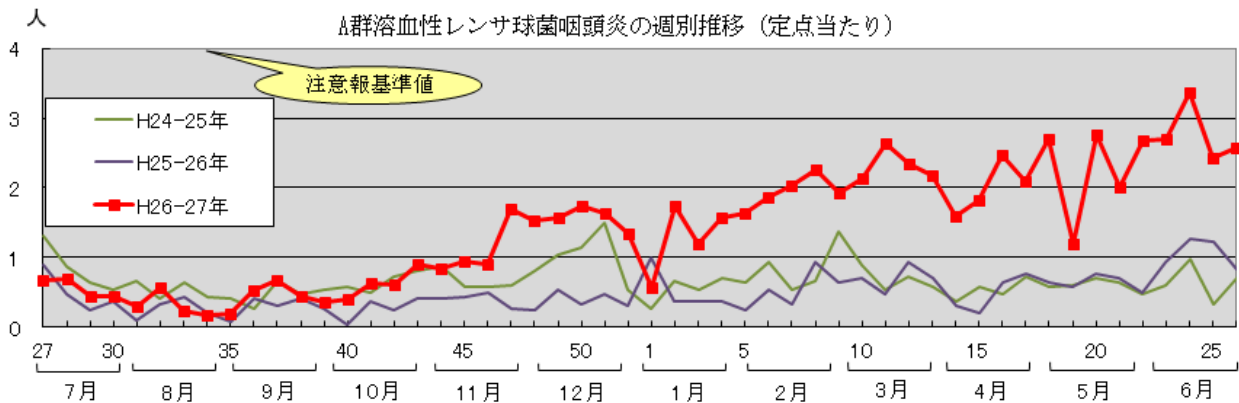
○手足口病：2.43（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.43（前週 1.57）と増加しています。地域別にみると須崎 10.50（前週：3.00）、中央西 5.33（前週：3.67）安芸 2.00（前週：0.00）、中央東 1.43（前週：0.71）、高知市 1.27（前週：1.00）で増加し、須崎、中央西では警報値を超え、安芸では注意報値を超えています。



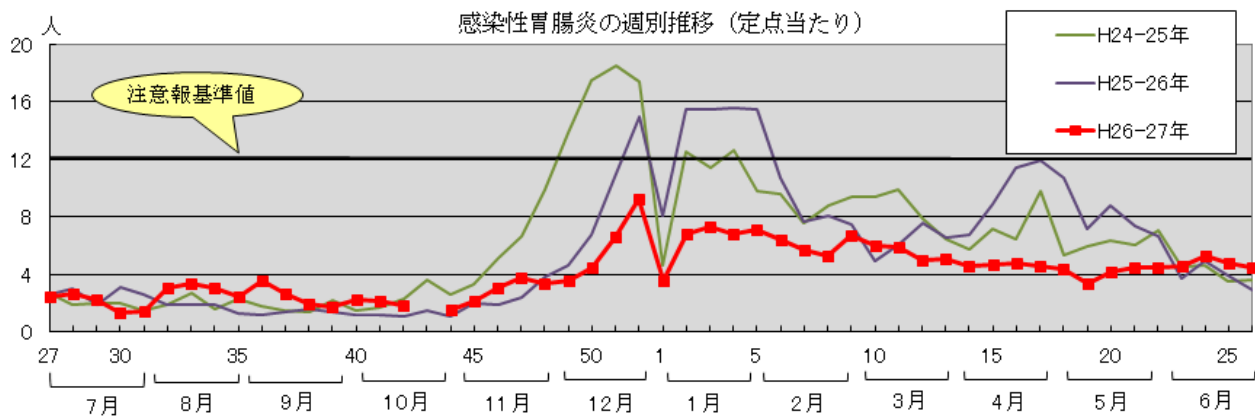
**○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2.57（注意報値：4.00 警報値：8.00）**

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.57（前週 2.43）とほぼ横ばいです。地域別にみると高知市 4.55（前週：4.27）、幡多 2.20（前週：1.20）、安芸 1.00（前週：0.50）、中央東 1.00（前週：0.29）で増加しています。高知市では注意報値を超えています。



**○感染性胃腸炎：4.47（注意報値：12.00 警報値：20.00）**

定点医療機関からの報告数は定点当たり 4.47（前週：4.80）とほぼ横ばいです。地域別にみると高知市 5.36（前週：4.00）、安芸 3.50（前週：3.00）須崎 2.50（前週：1.00）、で増加しています。



**★病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
26	感染性胃腸炎	4	男	高知市	Astrovirus NT
26	不明発疹症	13	男	須崎	Rhinovirus
26	感染性胃腸炎	4	男	高知市	Sapovirus genogroup unknown
26	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
26	感染性胃腸炎	3	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
25	不明発疹症	2	女	須崎	Human herpes virus 6
25	不明発疹症	13	男	須崎	Human herpes virus 7

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	75	80歳代(女)	高知市
		1	76	70歳代(女)	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例 (6歳男)
		ヒトメタニューモウイルス感染症 1例 (2歳女)
中央東	おひさまこどもクリニック	アデノウイルス咽頭炎・扁桃炎 3例 (1歳、2歳、3歳)
高知市	細木病院小児科	サルモネラ 1例 (4歳女)
		キャンピロ 1例 (10歳女)
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 1例 (9ヶ月男)
		病原性大腸菌 4例 (0ヶ月男女、6ヶ月男、6歳女)
	三愛病院小児科	帯状疱疹 1例 (14歳女)
	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 10例 (5歳女、7歳女、8歳男女、10歳男女、13歳男、15歳男、16歳女、23歳女) ※全て散発例です
		アデノウイルス扁桃炎 3例 (2歳男女、3歳女)
マイコプラズマ肺炎 2例 (2歳女、5歳男)		
中央西	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 4例 (1歳女、5歳女、28歳女、31歳男)
	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1例 (1歳女：津野町)
	石黒小児科	帯状疱疹 2例 (6歳男、10歳女)
須崎	もりはた小児科	手足口病増加
		滲出性扁桃炎 (アデノ) 2例 (2歳女、4歳女)
		カンピロバクター腸炎 1例 (10歳男)
		サルモネラ腸炎(07) 1例 (7歳男) ※25週検出
幡多	幡多けんみん病院小児科	hMPV2 2例 (1ヶ月男、1歳男)
		キャンピロバクター腸炎 1例 (8歳男)
	さたけ小児科	hMPV2 2例 (1歳男、3歳男)
		インフルエンザB型 5例

★全国情報

第24週 (6/8~6/14)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核398例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症56例、腸チフス1例、パラチフス2例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎3例、重症熱性血小板減少症候群4例、つつが虫病5例、デング熱5例、日本紅斑熱5例、レジオネラ症23例

5類感染症：アメーバ赤痢14例、ウイルス性肝炎5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎3例、クリプトスポリジウム症1例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群18例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症34例、水痘 (入院例に限る) 5例、梅毒27例、破傷風2例、風しん1例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群1例、デング熱1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、水痘 (入院例に限る) 8例、播種性クリプトコックス症5例、薬剤耐性アシネトバクター感染症2例

## ◆最近のE型肝炎の状況

E型肝炎は、E型肝炎ウイルス（HEV）の感染によって引き起こされる急性肝炎である。潜伏期は平均6週間といわれている。臨床症状はA型肝炎との共通点が多く、発熱、全身倦怠感、悪心、嘔吐、食欲不振、腹痛等の消化器症状を伴い、黄疸が認められるが、不顕性感染もある。まれに急性肝炎が悪化して劇症肝炎になり、劇症肝炎から死に至るケースもある。致命率（約1～2%）はA型肝炎より高い。感染経路は、各国の衛生状態により異なり、いわゆる途上国では感染者の糞便中に排泄されたウイルスによる経口感染が主で、常時散発的に発生しており、時に飲料水を介する大規模集団発生が報告されている。一方、日本をはじめ世界各地で、E型肝炎は動物由来感染症として注目されており、近年の関心の高まりや、サーベイランスの感度等の向上の要因も含め、これまで少なかった先進国からの報告も増加している。また、欧州や、隣国の韓国や台湾の血清抗体調査では、過去に感染した者が少なくなかったことが明らかになった。わが国におけるE型肝炎は、1999年4月から施行された感染症法では、全数把握の4類感染症「急性ウイルス性肝炎」として医師に診断後7日以内の届出が義務付けられていた。2003年の同法改正に伴い、「E型肝炎」として独立した4類感染症となり、診断後ただちに届け出ることが必要となった。本稿は、感染症発生動向調査に基づく国内の疫学状況に関する情報を提供することを目的とする。

直近3年間（2012～2014年\*、\*2014年は以下全て暫定値）に感染症発生動向調査でE型肝炎と届出された患者報告数は402例であった〔2012年：121例、2013年：127例、2014年：154例\*〕。うち、国内感染と推定された症例（国内例）が大半を占めた〔2012年：112例、2013年：117例、2014年：146例\*；計375例〕。これらの国内例の年齢中央値は60歳（範囲18～89歳）で、性別は男性が多かった〔314/375（84%）〕。また、国内例375例のうち273例はIgAによる診断であり、2012年には58/112（52%）であったIgA検出による診断数は、2013年には97/117（83%）、2014年には118/146（81%）と大きく増加したことは特徴的であり、E型肝炎のIgA抗体検出キットの保険適用（2011年10月）、感染症発生動向調査のE型肝炎届出基準検査方法へのIgA抗体検出の追加（2013年4月）による影響があったことが考えられた。2015年は第22週（5月25日～5月31日）までに79例（暫定値）が報告されている。

2012～2014年の国内例における感染源の報告は、不明・未記載が〔224/375（60%）〕と最も多かったが、届出内に記載があり、単独の食材が推定された中では豚が最も多く〔54/151（36%）〕、次いでイノシシ〔19/151（13%）〕、シカ〔11/151（7%）〕の順であった。原因食材の複数記載例を含めて、豚肉の喫食が感染原因と推定されたもののうち、豚レバー（生かどうか不明を含む）、生肉（部位によらず）の喫食歴が記載されていたものは、それぞれ〔29/65（45%）〕、〔18/65（28%）〕であった。豚レバーを生で食すると、E型肝炎以外にも、サルモネラ属菌や、カンピロバクター・ジェジュニ/コリ等の食中毒のリスクがある。また国外では、豚からの有鉤条虫、旋毛虫等の寄生虫への感染も報告されている。これまで一般的に生食用として提供されてこなかった豚の食肉（内臓を含む）が、飲食店等で「豚のレバ刺し」などで提供されている等の実態を受け、厚生労働省は公衆衛生上のリスクが高いと判断し、平成27年6月12日から、豚の生肉やレバー等の内臓を生食用として販売・提供することを禁止した。

また、野生鳥獣であるイノシシやシカ等の食肉からもHEV、食中毒菌及び寄生虫が検出されている。厚生労働省は、「食肉を介するE型肝炎ウイルス感染事例について（E型肝炎Q&A）」及び「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針（ガイドライン）」を掲載し、野生動物の肝臓・生肉喫食を避け、十分加熱調理して喫食することの必要性を訴えている。国民全体にE型肝炎の感染のリスクについてより一層の周知徹底と理解が重要である。

---

中東呼吸器症候群（MERS）について：厚生労働省HP

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/mers.html>

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第26週 平成27年6月22日(月)～平成27年6月28日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第26週							計	前週	全国(25週)	高知県(26週末累計)		全国(25週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H26/12/29～H27/6/28				H26/12/29～H27/6/21			
インフルエンザ	インフルエンザ							20	20 ( 0.42)	15 ( 0.31)	632 ( 0.13)	15,319 ( 319.15)	1,146,242 ( 232.55)			
小児科	咽頭結核熱			1	3	1		2	7 ( 0.23)	7 ( 0.23)	2,578 ( 0.82)	84 ( 2.80)	33,233 ( 10.56)			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	7	50	5	2		11	77 ( 2.57)	73 ( 2.43)	9,866 ( 3.13)	1,735 ( 57.83)	213,535 ( 67.85)			
	感染性胃腸炎	7	35	59	15	5		13	134 ( 4.47)	144 ( 4.80)	19,537 ( 6.19)	4,242 ( 141.40)	542,059 ( 172.25)			
	水痘		1	5	1			3	10 ( 0.33)	5 ( 0.17)	1,424 ( 0.45)	310 ( 10.33)	40,319 ( 12.81)			
	手足口病	4	10	14	16	21		8	73 ( 2.43)	47 ( 1.57)	11,018 ( 3.49)	907 ( 30.23)	69,163 ( 21.98)			
	伝染性紅斑		2						2 ( 0.07)	1 ( 0.03)	2,822 ( 0.89)	54 ( 1.80)	41,206 ( 13.09)			
	突発性発疹		5	4	3	1		3	16 ( 0.53)	19 ( 0.63)	2,062 ( 0.65)	345 ( 11.50)	39,610 ( 12.59)			
	百日咳								( )	( )	67 ( 0.02)	9 ( 0.30)	1,054 ( 0.33)			
	ヘルパンギーナ		1	5	2			3	11 ( 0.37)	6 ( 0.20)	3,476 ( 1.10)	47 ( 1.57)	12,350 ( 3.92)			
	流行性耳下腺炎	2		2			2		6 ( 0.20)	8 ( 0.27)	1,560 ( 0.49)	467 ( 15.57)	27,023 ( 8.59)			
RSウイルス感染症				1	1				2 ( 0.07)	9 ( 0.30)	301 ( 0.10)	410 ( 13.67)	29,221 ( 9.29)			
眼科	急性出血性結核炎								( )	( )	11 ( 0.02)	( )	231 ( 0.34)			
	流行性角結核炎								( )	( )	511 ( 0.75)	6 ( 2.00)	8,296 ( 12.09)			
基幹	細菌性髄膜炎								( )	( )	7 ( 0.01)	5 ( 0.63)	204 ( 0.43)			
	無菌性髄膜炎								( )	( )	22 ( 0.05)	8 ( 1.00)	370 ( 0.78)			
	マイコプラズマ肺炎			4					4 ( 0.50)	4 ( 0.50)	126 ( 0.27)	108 ( 13.50)	2,763 ( 5.82)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			3					3 ( 0.38)	( )	5 ( 0.01)	27 ( 3.38)	162 ( 0.34)			
	感染性胃腸炎								( )	3 ( 0.38)	61 ( 0.13)	67 ( 8.38)	3,822 ( 8.05)			
計(小児科定点当たり人数)	15 ( 7.50)	62 ( 8.85)	150 ( 12.98)	44 ( 14.66)	31 ( 15.50)	63 ( 11.10)		365 ( 11.69)			56,086 ( 606.15)	24,150 ( 606.15)	2,210,863			
前週(小児科定点当たり人数)	11 ( 5.00)	72 ( 9.99)	128 ( 11.36)	48 ( 16.00)	19 ( 9.50)	63 ( 11.28)			338 ( 10.94)							

注 ( ) は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第26週							計	前週	全国(25週)	高知県(26週末累計)		全国(25週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H26/12/29～H27/6/28				H26/12/29～H27/6/21			
インフルエンザ	インフルエンザ							2.50	0.42	0.31	0.13	319.15	232.55			
小児科	咽頭結核熱			0.14	0.27	0.33		0.40	0.23	0.23	0.82	2.80	10.56			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.00	4.55	1.67	1.00		2.20	2.57	2.43	3.13	57.83	67.85			
	感染性胃腸炎	3.50	5.00	5.36	5.00	2.50		2.60	4.47	4.80	6.19	141.40	172.25			
	水痘		0.14	0.45	0.33			0.60	0.33	0.17	0.45	10.33	12.81			
	手足口病	2.00	1.43	1.27	5.33	10.50		1.60	2.43	1.57	3.49	30.23	21.98			
	伝染性紅斑		0.29						0.07	0.03	0.89	1.80	13.09			
	突発性発疹		0.71	0.36	1.00	0.50		0.60	0.53	0.63	0.65	11.50	12.59			
	百日咳										0.02	0.30	0.33			
	ヘルパンギーナ		0.14	0.45	0.67			0.60	0.37	0.20	1.10	1.57	3.92			
	流行性耳下腺炎	1.00		0.18		1.00			0.20	0.27	0.49	15.57	8.59			
RSウイルス感染症			0.09	0.33				0.07	0.30	0.10	13.67	9.29				
眼科	急性出血性結核炎										0.02		0.34			
	流行性角結核炎										0.75	2.00	12.09			
基幹	細菌性髄膜炎										0.01	0.63	0.43			
	無菌性髄膜炎										0.05	1.00	0.78			
	マイコプラズマ肺炎			0.80					0.50	0.50	0.27	13.50	5.82			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.60					0.38		0.01	3.38	0.34			
	感染性胃腸炎									0.38	0.13	8.38	8.05			
計(小児科定点当たり人数)	7.50	8.85	12.98	14.66	15.50	11.10		11.69			606.15					
前週(小児科定点当たり人数)	5.00	9.99	11.36	16.00	9.50	11.28			10.94							

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869